

パネル展

関宿城博物館
めりえちらし

国際博物館の日記念事業

かわ べ とい
川辺の鳥たち

4/19 ~ 6/26

「花鳥大短冊撰」は、天保（1830～44）前期頃に広重（1797-1858）が描いた花鳥画の大短冊判の人気シリーズです。実際の絵は、白鷺の羽根には、すべて絵の具を用いずバレンで強く摺る「空摺」の技法が使われ、広重の工夫がなされた一枚となっています。



歌川広重 花鳥大短冊撰より

菖蒲に鷺

しょうぶ

さぎ

から一部切り取ってめりえにしています。